

# 教師用 指導案

## 1. テーマ・授業名

テーマ1 パラリンピックの価値

授 業 3 「公平について考えてみよう！」

## 2. 授業の目標

- ・障害がある人もない人も一緒にスポーツを楽しむことができるように、どのような工夫ができるかを考えることで、パラリンピックを象徴する価値（「勇気」「強い意志」「公平」「インスピレーション」）のうち、特に「公平」について理解する。
- ・上記を通して、実生活の中で、公平について考慮した言動ができるようになるきっかけとなる。また、様々な人たちが共に生活している中で、どのように考えることが公平な判断につながるのかという視点も加え、共生社会を考える最初のステップとする。

## 3. 本時の位置づけ

- ・道徳の「公正、公平、社会正義」などの視点における事例学習として活用。
- ・総合的な学習の「福祉」の授業での活用。
- ※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

## 4. 指導の留意点、工夫点

- ・障害がある人もない人も一緒にスポーツをする場面を、想像ができない児童が多くいるかもしれないが、主体的で対話的な学びを通して、身近な問題としてとらえさせたい。
- ・できないことではなく、できることに注目させ、どうすればできるか考えてみることで、様々な工夫があれば公平にスポーツを楽しめることに気づかせたい。
- ・公平な方法を考えるにあたっては、決まった正解は存在しないので、より多くの人々が納得できる方法を模索すればよい。また、第三者が勝手に判断するのではなく、参画する人それぞれの意見を聞いたり、その人の立場を想像したりして状況をよくとらえ、個々に判断していくことが大切であることを感じさせたい。
- ・固定観念にとらわれず状況に応じて柔軟に考えたり、不利な立場にある人に配慮しながらも、逆にその他の人々が不利にならないように、様々な視点からいちばんよい方法を考える態度を評価したい。

## 5. 準備物

- ・授業用シート（1-3）
- ・教師用ガイド（1-3）
- ・児童用ワークシート（1-3）
- ※授業用シート P14 のパラリンピックの価値のページをポスター大にプリントアウトしたもの（印刷可能な場合）

## 〈展開案〉※【 】内は経過時間

時 間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出したい子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物	
導入 (10分) 【10分】		○授業の導入として、本時のイメージを持たせるために「公平」の言葉の意味を聞いた り紹介したりしてもよい。	・ 授業用シート (1-3)	
	自分の意見を考えてみよう！			
	○原市さんの小学校のドッジボール大会の様子を知り、自分の意見を持ち、発表する。  ・ 賛成。危ないからボールは当てないほうがよい。 ・ 反対。当てられないと面白くない。	○この部分はとばしてもよいし、2～3人に意見を聞いてもよい。  ○原市さんのクラスの児童の気持ちに着目させるために、なぜ特別ルールを作ろうと思ったかを考えさせてもよい。		
	原市さんは、どんな気持ちかな？			
	○原市さんの気持ちを予想して、発表する。  ・ うれしかったと思う。 ・ 当てられないのにげなくてよいからつまらないと思う。 ・ 公平ではない、普通にしたいと思ったと思う。	○意見が偏りそうであれば、ドッジボールの楽しさを考えさせたりすることで、様々な意見が出るようにする。  ○原市さんの気持ちと、その後の男の子の発言を紹介し、クラスの子が特別ルールを作ろうとしたことも、ある男の子がみんなと一緒にしようとしたことも、原市さんのことを思っている話であることに気づかせる。		
展開 (25分) 【35分】	2年1組のしょうたさんは、車いすを使っています。運動会でクラス対抗の玉入れをしますが、どのようなルールだと、みんなが楽しく競い合えるか考えてみましょう。			・ 授業用シート (1-3)
	①しょうたさんが玉入れをしたときどうなるかを想像し、自分の意見を持つ。 (ワークシートに記入)	○不利な立場の人に配慮することで他の人が不利にならないように、「みんなが楽しく競い合える」ということを特に強調して考えさせる。  ○スライド7の「しょうたさんが玉入れでむずかしいこと」は、児童に想像させた後に提示したい。ほかによいものがあがったら、十分に認める。		
目安 ①5分				

時間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出したい子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
② 15分	どのルールだと楽しく競い合えるかな？		
	<p>②グループワークを行い、チームごとに案をまとめて発表する。</p> <p>・私のグループは、<b>あ</b>だとみんな同じ条件なのでいいと思いました。</p> <p>・<b>え</b>だと公平に競い合えると思います。</p> <p>・本当はしょうたさんの意見が聞きたいです。</p>	<p>○スライド8の用意した5つの案を見せるのではなく、最初から考えさせてもよい。アイディアが出そうなら、スライド8を見ずにとばして進めてよい。</p> <p>○児童からアイディアが出なければ、スライド8の5つの案を説明し、グループでどの案がよいかを話し合わせる。</p> <p>○グループワークにする場合も、どれを選んだか、なぜ選んだかという自分の意見は先に書かせる。</p> <p>○案には、しょうたさんだけ特別にするもの（<b>い</b>、<b>う</b>、<b>お</b>、<b>か</b>）と、他の人がしょうたさんに合わせているもの（<b>あ</b>、<b>え</b>）があり、配慮の方法には様々な考え方あることに触れたい。</p> <p>○一人ひとりの状況をくみ取って判断することが大切であること、考えるプロセスが大切であることに気づかせたいので、グループでも答えを1つに絞る必要はない。</p> <p>○議論が偏りがちにならないように、様々な方向から議論ができるように、机間巡視をして声かけをしたい。</p> <p>○机間巡視では、ルールは思い込みで決めるのではなく、しょうたさんの思いを想像したり、本人は何がしたいか、どうしたいかなどの思いを聞いたりする過程がふまえられているかを確認したい。</p>	

時間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出したい子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
③④5分	しょうたさんの気持ちはどうだったかな？		
	③しょうたさんの気持ちを 知る。	○しょうたさんの気持ちを聞くことも大切で あることに気づかせて、しょうたさんのス ライドを説明する。	
	最後はどんなルールになったかな？		
	④最終のルールを知り、 様々な点から公平なルー ルを検討することの意義 を知る。	○公平な方法を考えるにあたっては、決まっ た正解は存在しないので、より多くの人が 納得できる方法を模索すればよい。また、 第三者が勝手に判断するのではなく、参画 する人それぞれの意見を聞いたり、その人 の立場になって想像したりして状況をよく とらえ、個々に判断していくことが大切で あることを感じさせたい。  ○しょうたさんがいる1組だけを配慮すれば よいのかを、みんなでよく話し合い、両者 が納得する方法を考えることが大切という ことが伝わるようにする。  ○自分一人だけ違うルールを適用されたらど う思うのか考えられるように声掛けを行う とよい。 ○配慮しているつもりが、本人のできる・で きないを勝手に決めつけてしまっていたり、 楽しみを奪っていたりするかもしれないこ とを想像できるとよい。	
まとめ (10分) 【45分】  目安 感想記入 5分  まとめ 5分	今日、心に残ったことを書こう！		・授業用シート (1-3) ・児童用ワークシート (1-3)
	○振り返り 今日の授業で心に残ったこ とを、ワークシートに書き 発表する。	○時間があれば、2～3人に発表させる。	
	まとめ：パラリンピックの価値について触れる。		
	○パラリンピックの価値 (「勇気・強い意志・公平・ インスピレーション」)に ついて知り、特に公平に ついて振り返る。	○パラリンピックの価値 (「勇気」「強い意志」 「公平」「インスピレーション」について簡 単に伝え、今日は特に「公平」について考 えたことを押さえる。	